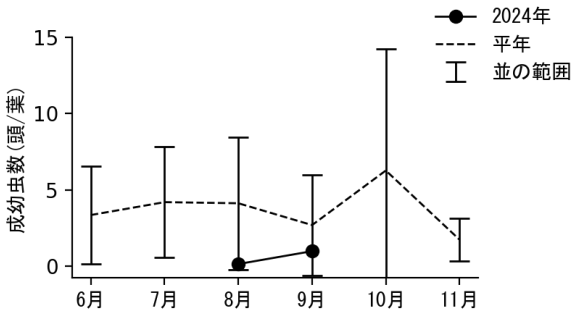
令和　6 年度　10 月予報

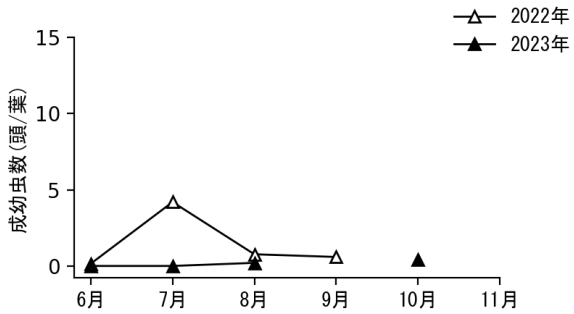
| 作物 | マンゴー | 地域 | 沖縄群島 |
|---|---|---|---|
| 病害虫名 | ① チャノキイロアザミウマ | | |
| 調査結果 | 9 月の発生量（平年比） | 並 | |
| 予　報 | 9 月からの増減傾向 | ↗ | |
| | 10 月の発生量（平年比） | 並 | |
| 予報の根拠 | | 平年の発生量の推移（↗） | |

調査結果

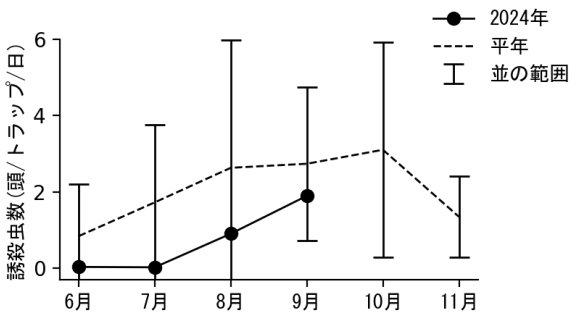
葉当たり成幼虫数の推移（今期と平年）



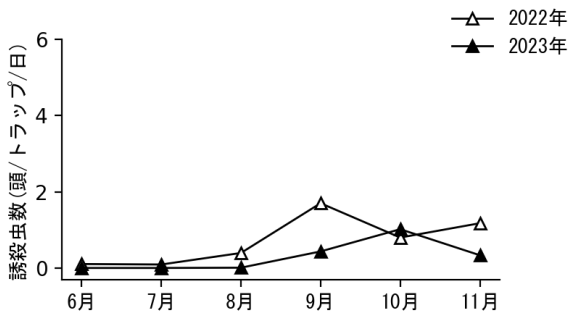

葉当たり成幼虫数の推移（過去２年）




トラップ当たり誘殺虫数の推移（今期と平年）




トラップ当たり誘殺虫数の推移（過去２年）




・発生施設率100%（平年：84.5%）

防除のポイント

・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。
・コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ナガエコミカンソウ

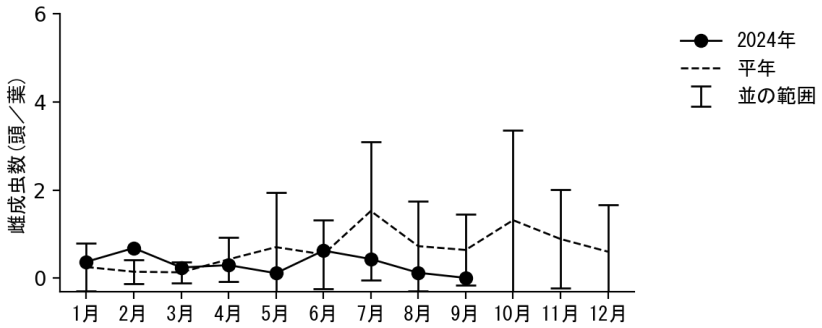
令和　6 年度　10 月予報

| 作物 | マンゴー | | 地域 | 沖縄群島 |
|---|---|---|---|---|
| 病害虫名 | ② ハダニ類 | | シュレイツメハダニ | |
| 調査結果 | 9 月の発生量（平年比） | 並 | | |
| 予報 | 9 月からの増減傾向 | ↗ | | |
| | 10 月の発生量（平年比） | 並 | | |
| 予報の根拠 | | 平年の発生量の推移（↗） | | |

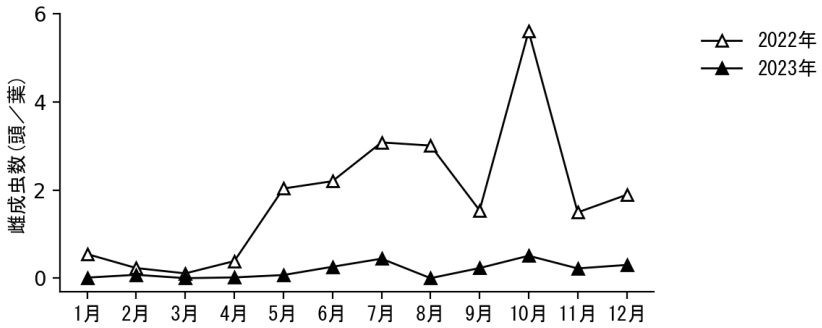
調査結果

雌成虫数の推移

＜今期と平年＞




＜過去２年＞




・発生種：シュレイツメハダニ

・発生施設率20.0%（平年：60.5%）

防除のポイント

・多発すると防除が困難となる。特に収穫時、発生が多くみられた施設では、多発する傾向があるため早期発見・防除に努める。

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ハダニの寄生による葉のかすれ症状

マンゴーツメハダニ